



伊藤先生から県士会員へのメッセージ

熟年理学療法士のたわ言 (Part2)

～ 青森を去るにあたって～

青森県立保健大学 伊藤日出男

2000年1月1日発行の青森県理学療法士会ニュース No.204 に、「熟年理学療法士のたわ言～第26回定例研修会の感想～」という1文を寄せたことがある。このたび勤務先の青森県立保健大学を定年退職するにあたり、編集者より若い世代への何か提言をとの依頼をうけた。そこで、「熟年理学療法士のたわ言 (Part2)」として思いつくままに述べてみたい。

1. 対等に討論できる得意分野をもつこと

若手会員の9割以上は臨床現場で働く理学療法士だと思うが、皆さんは「これだけは誰とでも討論できる」という得意分野を持っているだろうか？何年たっても養成校で学んだ知識・技術を金科玉条のごとく守っているのもいいけれども、できるならば新しい知識・技術を吸収し、自分なりの工夫を積み重ねてレベルアップを図りたいものである。

2. 他職種と連携できる理学療法士でありたい

皆さんは他職種・分野の人たちと連携できる理学療法士だろうか？いくら優れた理学療法士であっても、単独でできる仕事は限られている。理学療法士としての専門性をきちんと維持しながら、他の専門性も尊重し協調することで多様な知識や情報を仕入れることができる。それによって、理学療法士による仕事の効果を2倍、3倍に高めることができる。

3. 実習指導は将来に向けての重要な投資である

学生への臨床実習指導を、業務の一つとして加えているだろうか？多忙な日常業務の中で実習指導はわずらわしいし、診療報酬上の見返りが少ないからと、実習指導に無関心な病院・施設の指導者は、遠からず養成校から相手にされなくなる。あなた方の病院・施設が近い将来きつとくる欠員補充に対しても、卒業生からそっぽを向かれるのは大きな損害である。実習生に対する質の高い指導は、長期的に見て見返りの多い“投資”であることをしっかりと認識して欲しい。

4. 外国人と接すること

ハネムーンで外国旅行をする人びとが多い時代になったが、それだけでなく外国に出向いてそこに住む人びとと直接話してみたり、生活をのぞいてみることを勧めたい。人生観が変わるとまではいかなくても、ものの見方がひろがったり、日本の国家や社会に対してそれまでとは違った認識が生れるかもしれない。それによって病気や障害に悩む人々に対する接し方が、前とは違ってくるかもしれない。

5. 歴史から学ぶ姿勢

理学療法士分野に限らず、歴史をすこし紐解いてみると先人の歩みから学ぶものは多いはず。勿論、批判的にだが -。“Aomori Original Mind Overcomes Rehabilitation Ignorance.”という言葉がある。この言葉は、本土会の創立29周年記念学術集会の折に、当時の奈良勲協会長からおくられたものである。この言葉をじっくりとかみしめて、お互いに、さあ、また明日から頑張ろうではないか！

最後の4半世紀にわたって多大のご支援を頂き、心から感謝申し上げます。

事務局からのお願い(最重要)

理学療法士協会へ会員証の申込みはお済みですか？

協会では、急激に増大する会員の管理および会費徴収の効率化を図るために、来年度よりクレジット機能のついた会員証を発行することになりました。事前に申込書が届いていると思いますが、早めにお申込み頂き来年度からの活用に御協力お願い申し上げます（会員証ですので、全会員が対象となります）。

異動の時期となりました。異動のある方は、士会ニュースNo.275巻末の会員異動届に必要事項記入の上、事務局まで送付してください。尚、市町村合併等による住所変更・名称変更等もお願い致します。

〒038-1216 南津軽郡常盤村榊字亀田2-1
県士会事務局 ときわ会病院 リハビリテーション科内
佐藤 比呂子 宛
PHONE・FAX 0172-65-3698
E-mail ; ptaomori@m16.alpha-net.ne.jp

第24回東北理学療法士学会のご案内

第24回東北理学療法士学会
学 会 長 伊藤 和夫
準備委員長 梅村 孝博

謹啓

温暖の候となりましたが、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、今年11月に八戸で開催されます第24回東北理学療法士学会の趣意書並びに開催要綱、演題募集要綱について下記の通り決定しましたので、ご案内申し上げます。

本学会では貴重な講演も予定しておりますが、学会本来の目的でもあります演題発表を活発に発表、討議していただけるよう学会日程を組んでおります。是非県士会員の先生方から多数の演題のご応募をお待ちしております。また、今回は県内で開催される学会であり、本学会を盛大に開催できますよう学会長始め準備委員共々準備を進めてまいりますので、是非士会員皆様の多数のご参加、ご協力をお願いしたいと存じます。

謹白

記

趣 意 書

テーマ「新たな介護保険制度下における理学療法の展開」

少子高齢化社会に対応し、平成12年から始まった介護保険制度によって医療保険と介護保険との分離が行われ、いわゆる維持期と称される施設・在宅でのリハビリテーションは介護保険制度の下で行われるようになりました。具体的には、入所、通所、在宅におけるリハビリテーションにおいて理学療法が実施されています。私たち理学療法士の活動範囲も従来の医療機関中心から地域や介護保険事業分野に移行、拡大しています。

厚生労働省により見直された新たな介護保険制度は、医療保険から介護保険への早期移行、予防重視型システムへの転換などに重点が置かれています。また、新たなサービス体系の確立として、地域密着型サービスの創設、地域支援型サービスの創設、医療と介護の連携の強化などを柱に、明るく活力ある超高齢社会の構築を目指そうとしています。

特に、今回の介護保険見直しの大きな特徴の一つは介護予防を中心としたシステムが構築されたことです。現行制度をサービス提供型として予防の重要性が提起され、中でも新予防給付事業における転倒予防や筋力トレーニングが実施されます。この分野における取り組みの認識と理解が理学療法士に課せられ、日本理学療法士協会は新予防給付事業担当者の養成と派遣システムを検討しています。

職域拡大は私たち理学療法士の課題の一つです。近年、養成校の増加に伴い、理学療法士の質が真に問われる時代が到来しています。新たな介護保険制度下での理学療法のあり方を従来のサービスを再考しつつ、時代の要請に応じた理学療法や理学療法士はどうあるべきかを本学会にて提起したいと考えています。キーワードを、介護保険、医療と介護の連携、介護予防、地域密着とし、話し合いたいと考えます。

本学会が開催される時期は、新たな介護保険制度がスタートして半年経過した時期であります。この取り組みが開始され、これまでの経過を振り返りたいと考えます。そして、今後の理学療法の展開並びに理学療法士のあるべき方向性について会員のみならず、広く御参加される方々とともに考えていきたいと思っております。

第24回東北理学療法士学会開催要綱

1. 会期 平成 18 年 11 月 11 日(土)～ 12 日(日)
 テーマ 「新たな介護保険制度下における理学療法の展開」
2. 会場 八戸市公民館公民館ホール及び八戸市公会堂展示室
 八戸市内丸 1 丁目 1 番 1 号 TEL : (0178)45 - 1511
3. 学会参加費 会員 4,000 円 非会員 4,000 円 学生 1,000 円 特別講演のみの参加者は無料
4. 内容

演題発表	口述発表およびポスター討議		
特別講演（公開）	「改正介護保険におけるリハビリテーション・ケアマネジメント」		
	講師	日本介護支援専門員協会会長	木村 隆次 氏
シンポジウム	テーマ 「これからの介護予防と理学療法」		
	シンポジスト		
	市立横手病院		願法 廣典 氏
	訪問看護ステーションいわて		柳沢 千佳子氏
	青森県立保健大学健康科学部保健学科		三浦 雅史 氏
	青森県健康福祉部介護保険課課長		福田 誠 氏
	介護老人保健施設パステルヴィレッジ小野		金谷 さとみ氏
	司会 青森県立保健大学健康科学部理学療法学科		川口 徹 氏
セミナー	「最近のマニュアルセラピーについて（仮）」		
	講師	埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科	藤縄 理 氏
セミナー	「よりよいケアのために理学療法士が考えること」		
	講師	神戸学院大学総合リハビリテーション学部 医療リハビリテーション学科理学療法専攻	備酒 伸彦 氏

5. 学会役員
- | | | |
|-------|--------|---------------|
| 学会長 | 伊藤 和夫 | あおもり協立病院 |
| 副学会長 | 中村 正直 | むつりハビリテーション病院 |
| 準備委員長 | 梅村 孝博 | 東北メディカル学院 |
| 事務局長 | 中江 秀幸 | 東北メディカル学院 |
| 学術局長 | 庭田 幸治 | 東北メディカル学院 |
| 運営局長 | 村上 三四郎 | 東北メディカル学院 |

6. 学会事務局 〒 039 - 1522 青森県三戸郡五戸町字苗代沢 3 番地 638
 学校法人 臨研学舎 東北メディカル学院 理学療法学科 中江 秀幸
 TEL 0178 - 61 - 0606 FAX 0178 - 61 - 0034

セミナー ・ は新人教育プログラムとして認定されます。

青森県理学療法士学会ホームページ（<http://www.aa.alpha-net.ne.jp/ptaomori/>）で最新情報をご案内しております。

演題募集要綱

1. 応募資格

- (1) 社団法人日本理学療法士協会東北ブロック協議会会員に限ります。
- (2) 共同演者も原則として本会会員に限りますが、会員以外共同演者のある場合は、その主体が本会会員であることが必要です。
- (3) 演題は未発表のものに限ります。
- (4) 他の学会・研究会・検討会等で口演されたものや卒業論文等を発展させて発表する場合はこの限りではありません。しかし、この場合は口演されたものや卒業論文のコピーを添付し、本文の文末にその旨を付け加えてください。

2. 応募方法

- (1) 青森県理学療法士会ホームページ (<http://www.aa.alpha-net.ne.jp/ptaomori/>) の「第 24 回東北理学療法士学会」に準備しております「演題登録」からの応募のみとさせていただきます。
- (2) 演題登録の前に、同ホームページの「演題抄録フォーム」ボタンより抄録フォームをダウンロードし、抄録作成をお願いします。
- (3) 抄録作成後、「演題登録」ボタンより、演者氏名、希望発表形式、所属士会、会員番号、所属施設、連絡先住所を入力の上、作成した抄録を添付して送信してください。
- (4) 演題登録完了後、登録完了メールを演題登録した e-mail アドレス宛に送付いたします。
- (5) 複数演題発表者は一演題毎の演題登録をお願い致します。

3. 募集期間

平成 18 年 5 月 1 日 (月) 午前 9:00 ~ 7 月 11 日 (火) 午後 6:00

4. 原稿作成要領

下記に従って、不備のない抄録原稿を作成して下さい。

- (1) 抄録原稿は、ダウンロードした専用の抄録原稿ファイルを用いて作成して下さい。
- (2) 抄録原稿用ファイルのレイアウトは変更のないようお願いします。
- (3) 本文には、【目的】・【方法】・【結果】・【考察】・【まとめ】等の小見出しをつけて下さい。1 行の文字数は全角 26 文字以内で、48 行まで (図表を入れないで下さい) を厳守して下さい。
- (4) 図表を使用する場合は 1 枚のみとし、鮮明な図表を枠内に貼りつけて下さい。
- (5) キーワードは必ず 3 個を選び、キーワード間には (・) をつけて下さい。
- (6) 発表者氏名を先頭にして演者名を記載して下さい。発表者名の下に、アンダーラインを引いて下さい。演者の所属が異なる場合には、演者名に番号を振り、その後に各所属を番号順に整理する形で記載して下さい。各氏名および各施設名の間には、コンマ (,) をつけて下さい。
- (7) 演題名、キーワード、所属、氏名については「ゴシック体」、本文は「明朝体」とします。サイズは演題名には 11 ポイント前後を、キーワード、氏名、所属、本文には 9 ポイント前後を使用して下さい。

5. 応募演題の採択について

演題の可否は東北ブロック協議会学会協議委員による倫理性等のチェックを経て、最終的には学会長が決定します。その結果については、平成 18 年 8 月末日までに各応募者に通知致します。採択された演題の取り消しは出来ません。

なお、以下に該当する演題は審査の対象外となりますのでご注意ください。

* 演題募集要綱に沿っていないもの、他の学会・研究会・検討会で口演されたものや卒業論文など同タイトル・同抄録・同内容のもの。

6. 発表形式について

(1) 口述発表

発表時間は7分以内、質疑応答は3分以内とします。

スライドは10枚以内とします。

スライド用原稿および座長用原稿は不要です。

発表は主催者側準備のパソコンによるプレゼンテーションのみとします。

発表用の資料はWindows版 Microsoft PowerPoint で使用できるファイル形式で作成をお願いします。

PowerPointでの作成上、動画の使用は禁止とさせていただきます。

(2) ポスター討議

演者は下記時間帯(厳守)に、ポスター貼付・撤去を各自行って下さい。

・ポスター貼付：平成18年11月11日(土) 9:45～16:00

・ポスター撤去：平成18年11月12日(日) 10:30～12:00

演者は、指定された時間帯(厳守)に各自のポスターの前に待機し、質疑に対する応答を行って下さい。口述発表は行わず、自由討論になります。

ポスターの掲示面積(本文・図表)は、縦180cm×横90cmです。(図参照)

演題番号を除き、演題名・所属・氏名は、縦30cm×横70cmの大きさで、見やすいように作成して下さい。

ポスター展示上の注意

1) パネルに展示する前に台紙に貼り付けてください。

2) パネルの演題番号や台紙、貼り付け用文具などは、学会主催者側で用意いたします。

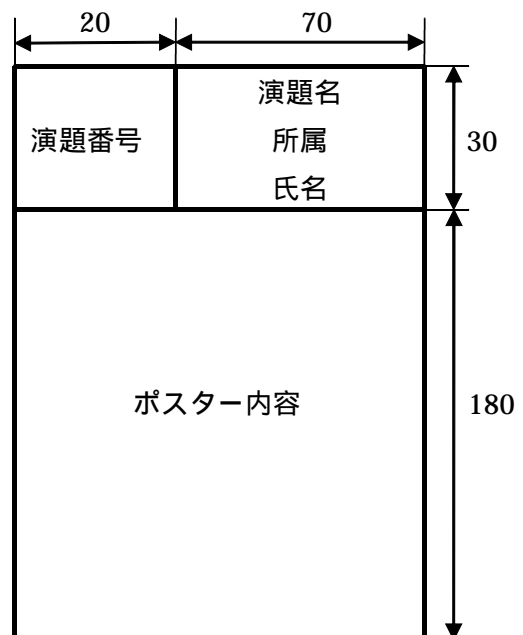
3) パネルや台紙の上に直接図表や文字を書いたり、糊付けしたりしないで下さい。

7. 留意事項

(1) 学会運営の都合上、口述発表を希望された場合でもポスター討議への変更をお願いすることがありますので御了承下さい。

(2) 学会当日のスライドの受付はスライド受付にて行ってください。詳細は後日配布予定の学会抄録・プログラム集をご参照下さい。

《ポスター規格》単位:cm



第24回東北理学療法士学会 【 宿泊・弁当のご案内 】

1. 宿泊のご案内

宿泊対象日 : 平成18年11月10日(金)・11日(土) の2日間。(主に11日)

宿泊料金 : 下記の通り。(朝食・サービス料・諸税等を含む)

宿泊施設・タイプ	部屋タイプ	食事条件	宿泊料金	備考
八戸グランドホテル	シングル	1泊 朝食	8,400円	会場まで、徒歩 3分
ホテルJALシティ八戸	シングル	1泊 朝食	8,400円	会場まで、徒歩 10分
八戸第一ワシントンホテル	シングル	1泊 朝食	7,350円	会場まで、徒歩 8分
ホテルルートイン本八戸駅前	シングル	1泊 朝食	7,000円	会場まで、徒歩 8分
ホテルユニバース八戸	シングル	1泊 朝食	6,300円	会場まで、徒歩 5分
ハイパーホテル八戸	シングル	1泊 朝食	5,700円	会場まで、徒歩 15分

ホテルの朝食が不要の場合でも、払い戻しはいたしませんので、ご了承下さい。

上記、シングルルームの他、ツインルーム等のご希望も対応させていただきますので、お申し込み下さい。

各ホテルの駐車場は、有料となる場合がございます。宿泊ホテル回答後、各ホテルへ直接お問い合わせ下さい。

2. お弁当のご案内

弁当対象日:平成18年11月11日(土) のみの1日間。(当日販売も予定しておりますが、数に限りがございます。)

弁当料金	700円(税込み・お茶付)		
お渡し時間	11時00分 ~ 13時00分	お弁当引換券をご持参下さい。	
お渡し場所	会場内・トップツアー専用ブース		

会場周辺には食事施設がほとんどありませんので、お弁当のお申し込みをお勧めします。

3. 交通のご案内

お客様のご希望により、JR券等の交通手段のお申し込みも受付させていただきますので、お申し込み下さい。

4. 申し込み方法 及び 締切日

別紙、申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。

申し込み締切日 平成18年10月20日(金) 必着にてお願い致します。

配宿作業終了後、「宿泊利用券」・「弁当引換券」及び「請求書」を申込者宛に、10月27日(金)頃までに郵送にて送付させていただきます。作業の進行状況により、多少前後することがございますので、予めご了承下さい。申込書のE-mail記入覧に、ご記入頂いた方には、「宿泊利用券」等をメールにて送付させていただきます。

ご 宿 泊	お 弁 当
宿泊日の 4日前 まで	無 料
宿泊日の 2日前 まで	宿泊料金の 20%
宿泊日の 前 日	宿泊料金の 50%
宿泊日の 当 日	宿泊料金の 80%
不泊 または 無連絡	宿泊料金の 100%
	前日(10日)の12時まで
	無 料
	それ以降 及び 当日
	全 額

ご返金等がある場合は、当社より直接お客様へご連絡させていただき、ご指定の口座へお振り込みさせていただきます。

取消日とは、お客様が当社の営業日・営業時間内にお申し出を頂いた日とします。

トップツアー(株)八戸支店・営業時間/平日(9:00~18:00)土・日・祝日は休業。

領収書が必要な場合は、大会当日「会場内・トップツアー専用ブース」にお越し下さい。

11月11日(土) 9時00分~17時30分

7. その他

当社は、大会実行委員会様より委託され各施設を確保しておりますので、是非とも当社を通してお申し込み下さいますようお願い致します。

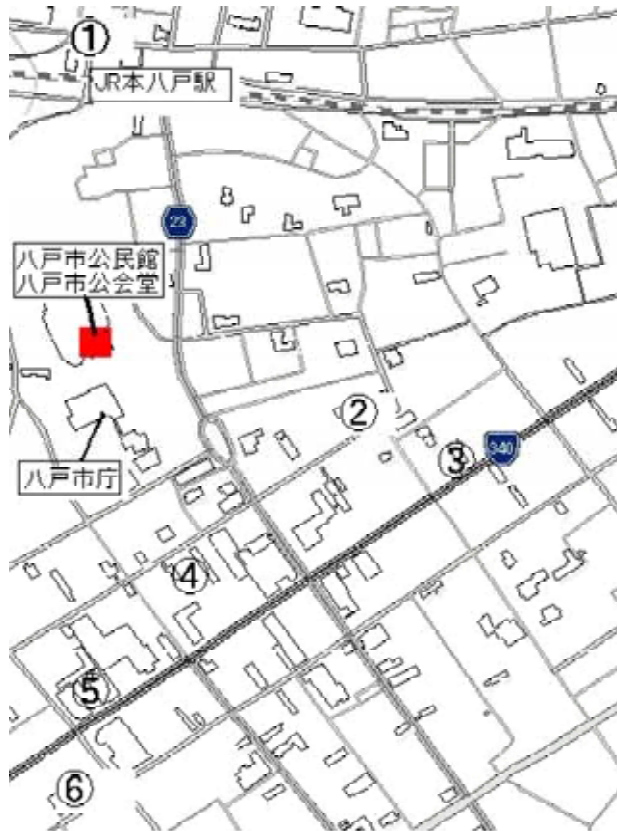
大会期間中の宿泊・弁当の変更、その他お問い合わせ等がございましたら、「会場内・トップツアー専用ブース」へお越し下さい。 11月11日(土) 9時00分～17時30分

8. 申し込み・問い合わせ先

トップツアー(株)八戸支店 / 〒031 - 0041 青森県八戸市二十三日町38 山徳ビル2F

TEL : 0179 - 43 - 3720 / FAX : 0178 - 45 - 8169 / E-mail : hachinohe2@toptour.co.jp

営業時間 : 平日9 : 00 ~ 18 : 00 (土曜・日曜・祝日休業) / 担当 : 佐藤・岩浪・浪打



- ① ホテルルートイン本八戸駅前
- ② 八戸グランドホテル
- ③ ハイパーホテル八戸
- ④ ホテルユニバース八戸
- ⑤ 八戸第一ワシントンホテル
- ⑥ ホテルJALシティ八戸

平成17年度定期総会議事録要約

黒石病院 後藤 明教

議長：須藤真史（弘前脳卒中センター）
書記：原 悠子（三沢市立中央病院）、成田 知佳（ときわ会病院）
議事録署名人：対馬新吾（ときわ会病院）
中村信也（弘前脳卒中センター）

日時：平成 18 年 3 月 18 日（土）17:10 ~ 18:40
場所：弘前大学医学部保健学科 第 24 講義室（弘前市）

出席者：出席者 111 名、委任状 117 通、計 228 名（成立）

議題：第 1 号議案 平成 17 年度事業報告
第 2 号議案 平成 17 年度会計・資産報告
第 3 号議案 平成 17 年度会計・資産監査報告
第 4 号議案 平成 18 年度事業計画・予算案
第 5 号議案 選挙管理委員会委員の選出
第 6 号議案 協会代議員会提出議題

《議案審議》

第 1 号議案 平成 17 年度事業報告

報告：事務局長 後藤明教

- ・平成 17 年度の士会員数を 351 名（休会 19 名）で、新入会員は 31 名であった。
- ・平成 18 年 2 月 28 日までに会費未納者が 6 名あった。
- ・伊藤日出男氏が厚生労働大臣表彰を受賞された。
- ・各圏域に於いて介護認定審査会委員を推薦した。
- ・青森県からの委託で介護予防筋力向上トレーニング事業を実施した。
- ・学術局主催の研修会・特別講習会等は、例年通り開催された。
- ・理学療法研究 23 号が出来上がり、会員へ配布予定である。
- ・介護予防・介護保険に関連する研修会を開催した。
- ・士会ホームページを開設しているが、更新の滞りが多かった。

第 2 号議案 平成 17 年度会計・資産報告

報告：事務局長 後藤 明教

第 3 号議案 平成 17 年度会計・資産監査報告

報告：監事 三浦時男、山田 伸

- ・平成 18 年 3 月 4 日（土）国立病院機構青森病院において監査を実施した。
（出席者：佐藤洋、三浦時男、山田伸）
- ・一般会計の収支、決算および資産は適正に管理されていた。
- ・今年度より各部局に会計担当を置くようにしたが、一部に領収書の管理が未熟による不備が認められた。
- ・学会運営に当たっては、年度またぎの予算計上であったが、今年度より一括した予算計上となり、会計業務の煩雑さの軽減を図った。

【質疑応答】

- Q . 個人情報保護法の施行もあるが、県士会員の名簿は横の繋がりを図る上でも大切であるので、ぜひ全士会員に配布して欲しい。
- A . 次年度は、士会員名簿と組織図や役割分担を明記した冊子を作成する予定で予算化している。ただ、異動届けの未提出があるので、遅くとも上半期の会員動向を参考に作成する方向である。
- Q . 学術局の中にスポーツ理学療法部があったはずだが、今年度の事業報告されなかったのはなぜか？
- A . スポーツ理学療法班として、行ってきたが活動がなかなか難しく、私的に活動するのか公的に活動するのか検討が必要である。
- Q . 青森県からの委託事業を受ける際、法人化されていないと、手続きがとても煩雑であるので、ぜひ法人化を検討して欲しい。
- A . 県士会の現状は、サークル的な立場で、法的な拘束力は何もない。そのため、委託事業等の引き受けでは、手続きが煩雑となっている。法人化を推進する形で検討はしてきているが、ここ数年の法律上の変更などがあり、決断できずにいる。今国会で方向性が出る予定なので、その結果をもとに、今後、理事会に諮り、具体的な作業に取りかかりたい。
- Q . 繰越金が 250 万円程あるが、予定した事業が行われなかったのか、それとも節約を図ったのかその経緯を教えてください。
- A . 前年度の繰越金が 220 万円程あり、そのままの繰越で今年度の予算では予定通り事業が行われた。
- Q . 会計上、学会予算が年度またぎになるのは仕方ないのではないかと？
- A . 今までは、準備のために学会前年度に 10 万円、学会年度に運営費として 25 万円の予算計上をしてきたが、会場の予約など事前の支出が予算より多く、準備委員長が自前で立て替える事態が生じている。やはり、特別会計とし、会計業務を簡素化する上でも一括に予算計上するべきと考え今年度より変更した。次回からは、特別会計の決算報告書も提示する方針である。

第 1・2・3 号議案 承認

第 4 号議案 平成 18 年度事業計画・予算案

提案：事務局長 後藤 明教

- ・協会では、大幅な会員増のため事務局機能の見直しを図り、特に会費未納者の増加を防ぐために会員証の発行を決定した。当士会としても会員証の申請を促進すると共に未納者への働きかけを行う。
- ・会員相互の親睦（特に若手会員との）を図る親睦会やスポーツ大会等を実施する。
- ・学術局の研修会は例年通り開催予定。
- ・理学療法の啓蒙活動は、いろいろな企画にて継続していく。
- ・介護保険関連の研修会への会員の派遣と伝達講習会の開催。
- ・介護予防理学療法士養成研修会への会員の派遣と伝達講習会の開催。
- ・県士会ホームページの充実と委託業者の見直しを図る。
- ・韓国水原市物理治療士会との交流活動。
- ・市町村合併後の支部設立の準備作業および立ち上げ。
- ・第 31 回の県士会学会長は、橋本修一氏決定。
- ・第 24 回東北理学療法士学会準備・運営。

【質疑応答】

- Q . 学術局のスポーツ理学療法部は、冬季アジア大会の参画を機に士会員の意識が高まって作られたものであり、やはり活動を継続し、スポーツ理学療法の啓蒙を図って欲しい。
- A . スポーツドクターの会のアスレチックトレーナーの研修にも P T が多く関わっているが、メディカルスポーツ理学療法に関しても学術局で検討していく。
- Q . 公益事業に関して、他団体よりも積極性に欠けるのでは？
- A . ご指摘の通りであるが、今年度は介護予防キャラバン等で対応した。もう少し県民向けの講演会等を企画出来るよう検討する。

Q . 地域活動部の予算が、5 万円しかないが次年度も協会主催の研修会へ会員の派遣を予定しているのだから増やした方が良いのでは？

A . ご指摘の通り 5 万円では不十分なので、15 万円の予算計上を提案します。

Q . 休会の規定を教えて欲しい。

A . 定款上、県士会員は、日本理学療法士会の会員として青森県内に勤務、もしくは在住する者とあります。協会では、何らかの都合で、4 年間まで休会を認めていますので、県士会もそれに追従しています。退会してしまうと次回、入会するときには入会金 5 千円が必要になりますが、休会者が復会するときには入会金はかかりません。ただ、4 年間休会して継続の意思表示がなければ自然退会となりますので注意して下さい。

第 4 号議案 承認

第 5 号議案 選挙管理委員会委員の選出

以下のように、3 名が再任された。

加藤樹哉（十和田市立中央病院）、向山勇一（五戸総合病院）、藤田恵子（三戸中央病院）

（順不同、敬称略）

第 5 号議案 承認

第 6 号議案 協会代議員会提出議題

議題 1 . 診療報酬・介護報酬等の改定の年度は、様々な情報が散在しており現場での混乱を招くため、施行される前に各士会の代表者を集めて、厚生労働省の担当者からの説明会を協会に企画・開催するよう要望します。また、今回の診療報酬改定に対し、職能団体として今後どのように対応していくのか方針を示して欲しい。

議題 2 . 包括支援や訪問・介護予防などの事業の充実が求められている昨今、限局した地方では、まだまだ、PT の不足している地域もあることから、一度、結婚等で離職した会員等、潜在 PT の掘り起こしと復帰を容易にするための方法を検討して頂きたい。

第 6 号議案 承認

以上

黎明郷リハビリテーション研修会の報告

黎明郷リハビリテーション病院 貴田 貴子

平成18年1月29日、当院にてリハビリテーション研修会を開催し、豪雪の中にも関わらず県内各施設のPT・OT・ST合わせて67名と、当院スタッフ15名の総勢82名の参加がありました。

講師に栃内第二病院の佐藤博志先生を迎え、「神経学的症状を持つ成人の評価と治療」というテーマで、午前中は講義とデモンストレーション、午後は実技という内容で行われました。講義・デモンストレーション・実技とも、新人でもわかり易い内容になっており、ユーモアも交えた説明で終始楽しい雰囲気でした。

研修会終了後参加者にアンケートを実施したところ、多くの参加者から「満足した」、「内容的に良かった」、「今後の治療に役立てたい」、「ボバースアプローチについて勉強になった」、「またこのような機会があれば参加したい」など、非常に好評でした。参加者の皆様には心より感謝申し上げます。

今後もこのような研修会を企画していきたいと考えていますので、ご期待下さい。

- 研修会のご案内 -

平成18年度「青森県理学療法士会新入会員ガイダンス」 兼「第1回青森県理学療法士会研修会」のご案内

学術局長 村上 三四郎

下記の要項で、平成18年度「青森県理学療法士会新入会員ガイダンス」兼「第1回青森県理学療法士会研修会」を開催致します。あわせて新人歓迎会も開催致します。たくさんの会員で新入会員を歓迎致したいと思っておりますので、ご多忙とは存じますが奮ってご参加下さるようお願い申し上げます。

日時：平成18年5月6日（土）～7日（日）

場所：東北メディカル学院（三戸郡五戸町字苗代沢 3-638 TEL：0178-61-0606）

タイムスケジュールおよび研修内容：

【5月6日（土）】

受付：14:30～

テーマ1（新人ガイダンス）：15:00～16:00

「協会組織と機構」

講師；後藤 明教（黒石市国民健康保険黒石病院）

講師；中江 秀幸（東北メディカル学院）

テーマ2：16:10～17:40

「臨床実習教育について」（理学療法の教育方法論）

講師；福島淳一（むつ総合病院）

新人歓迎会（懇親会）：18:30～

場所；まきば温泉（三戸郡五戸町字苗代沢 3 TEL0178-62-5511）

【5月7日（日）】

受付：8:30～

テーマ3：8:50～10:50

「診療報酬改訂、介護保険改訂」（PT・OT法および関係法規）

講師；板井英樹（国民健康保険おいらせ病院）

講師；中村正直（むつりハビリテーション病院）

テーマ4：11:00～12:30

「職業人・組織人として」（職業倫理・管理運営）

講師；斉藤 浩 先生（学校法人 臨研学舎 東北メディカル学院 専務理事）

参加費

1) 研修会参加費：1テーマ毎に500円

2) 懇親会費：5000円

3) 宿泊費：4000円（まきば温泉 1泊朝食付き、2～4名相部屋）

参加申し込み

1) 研修会参加：事前申込みは必要ありません。

2) 宿泊・懇親会参加：事前の受付が必要ですので、下記の申込先に FAX、E-mail で申し込んで下さい。

申込締切：4月21日(金)まで
(近くに新人会員がいたら教えてあげてください！)

申し込み先（問い合わせ先）
東北メディカル学院 理学療法学科
梅村孝博（ウメムラ タカヒロ）
TEL 0178-61-0606 FAX 0178-30-2022
E-mail pt.umemura@rinken.ac.jp

～ 理学療法士求人情報～

財団法人鷹揚郷・腎研究所・弘前病院

募集職種：理学療法士 2名（常勤もしくは非常勤）
条 件：新卒既卒不問
問い合わせ先：財団法人鷹揚郷・腎研究所・弘前病院
〒036-8243 弘前市小沢字山崎90
TEL：（0172）87 - 1221 FAX：（0172）87 - 1228
担当者：事務長 中西 寿生

各部局通信

【学術局通信】

平成18年度青森県理学療法士会研究助成公募のお知らせ

学術局々長 村上 三四郎

青森県理学療法士会では、士会員の積極的な研究活動を推進および支援することを目的に、平成15年度から研究助成制度をスタートさせました。

これから研究を新たに始めようと考えている方、これまでの研究を継続しようと計画している方は振るってご応募ください。多くの士会員、中でも若手のエントリーをお待ちしております。

【研究助成のQ&A】

Q1. どんな研究テーマなら応募できるの？

理学療法の発展に寄与・貢献するものであれば、テーマ（実験、調査、社会活動の効果などに関する研究）は特に問いません。

助成選考対象となるテーマについては、遠慮なくお問い合わせ下さい。

Q2. 応募資格は？

応募者または研究代表者は青森県理学療法士会会員でなければなりません。

Q3. 助成額はいくら？

助成総額は10万円です。助成額は選考委員の審査をもとに決定されます。

Q4. 助成件数は？

応募状況にもよりますが、原則として2件までとします。

Q5. 助成金の使い道は？

研究に必要と認められる経費、例えば消耗品費、機材購入費、打ち合わせ経費、研究協力者へのお礼（被験者等への謝金）等であればOKです。ただし、学会や研修会等への旅費や参加費として使うことはできません。また、機材購入のみを意図した使い方はできません。

Q6. 選考委員は誰？

選考委員は、研究助成選考委員5名（学術局長を含む）内規により学術局長が選任する。

Q7. どうやって選考するの？

選考委員5名がそれぞれ提出された書類内容を審査し、最終的に協議により採択するかどうかを決定します。選考結果は学術局から各応募者に通知され、また、青森県理学療法士会ニュースにも掲載されません。

Q7. 研究助成を受けた場合に遵守しなければならないことは？

以下の～を遵守しなければなりません。

第31回青森県理学療法士学会（平成19年3月）での研究成果発表

「理学療法研究」24号（19年3月発行予定）または25号（20年3月発行予定）への論文掲載
収支報告書の提出（学術局長宛、様式3-1、2を使用のこと）

Q8. 今後のスケジュールは？

応募期間：平成18年4月1日～6月20日

選考期間：平成18年6月21日～6月30日

研究期間：平成18年7月1日～平成19年1月31日

収支報告書提出：平成19年2月6日まで

研究発表：平成19年3月開催予定の青森県理学療法士学会

論文投稿：「理学療法研究」23号または24号の投稿規定に従う。

【応募要領】

1) 提出書類

ニュース巻末の様式をコピーするか、県士会ホームページから様式をダウンロードして、提出書類～を作成して下さい。

または、下記問い合わせ先に応募書類を請求してください。

研究計画書1部（様式1）

予算書1部（様式2）

2) 提出期限

平成18年6月16日（金）必着

3) 提出および問い合わせ先

学術局長（村上）まで、郵送またはE-mailに添付して提出してください。

〒039-1522 三戸郡五戸町字苗代沢3番地638

東北メディカル学院 理学療法学科

村上 三四郎 宛

TEL：0178-61-0606 FAX：0178-61-0034

E-mail：san46@rinken.ac.jp

【財務部通信】

17年度会費納入について

会費自動引き落とし者へ

次の方は、下記へ振り込みをお願いします。

佐々木梨香

会費自動引き落とし以外者へ

次の方は、下記へ振込をお願いします（3月28日現在）

成田 康子

獅子内善行 12,000 円のみ

大久保 千明、岩織 好信、岩井 和広 11,000 円のみ

会費納入方法は下記の通りです。早めに振り込んで下さい。

士会費 12,000 円の振込先 振込み手数料 210 円

みちのく銀行 黒石支店 店番 024 口座番号 0117013
名義名 青森県理学療法士会 代表者 佐藤 洋

協会費 11,000 円の振込先 振込み手数料 120 円

郵便振替で 口座番号 00130-3-78642

加入者名 社団法人 日本理学療法士協会

通信欄に

記入例 〔平成17年度会費 1名分 佐藤洋 8692〕 協会会員番号
と記入して下さい。払込人住所氏名は、施設名の住所氏名で結構です。

不明な点は 国立青森病院 リハビリテーション科
佐藤 洋

TEL 0172-62-4055(271)

E-mail rehab@aomori.hosp.go.jp

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

【ニュース編集部通信】

原稿受付に関するお知らせ

三八・上十三ブロック担当川口先生宛てのメールアドレスが下記の通り変更となっております。連絡先をお確かめの上、お問い合わせまたは原稿の送付をお願い致します。ご不明な点につきましては、編集部長またはブロック担当者までお問い合わせください。

次回の原稿締切は、平成18年4月25日（火曜日）です。

原稿を依頼された方、もしくは掲載記事をお持ちの方は、次頁の各支部担当にフロッピーディスク、FAX、E-mailのいずれかにて、送付して下さい。

青森県士会ホームページアドレス

<http://www.aa.alpha-net.ne.jp/ptaomori/>

§ ニュース編集部ブロック担当者 §

東青・むつ下北：工藤 寛教（あおもり協立病院）

〒 030-0847 青森市東大野 2 丁目 1 番地 10 号 TEL 017-762-5500 FAX017-729-3260

E-mail : celeste_urg1@mail.goo.ne.jp

(電話・FAX は病院、メールアドレスは工藤先生個人のもので、ご注意ください。)

三八・上十三：川口 恵理（シルバー病院）

〒 039-1161 八戸市河原木字八太郎山 10-444 TEL 0178-28-4000 FAX 0178-20-4962

E-mail : ptsilver4000@sg-silver.or.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

中弘南黒・西北五：藤田 俊文（弘前脳卒中センター）

〒 036-8104 青森県弘前市大字扇町一丁目 2 番地 1 TEL 0172-28-8220 FAX 0172-28-7780

E-mail : pt_staff@hirosakistroke-c.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

事務局ニュース編集部長：梅村 孝博（東北メディカル学院）

〒 039-1522 五戸町字苗代沢 3-6 TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034

E-mail : pt.umemura@rinken.ac.jp

編集委員：伴 久美子（黒石病院）

工藤 寛教（あおもり協立病院）

藤田 俊文（弘前脳卒中センター）

川口 恵理（シルバー病院）

豊嶋 大輔（八戸城北病院）

加藤 義人（なかざわスポーツクリニック）

久保 稔（南郷メディエルデプラザ）

外交局広報部（HP 担当）：安田 友久（青森労災病院）

////////////////////////////////////
編集後記

ついにやって来ました花粉の時期。この時期、つらく憂鬱な日々を過ごさなければならない人は多いのではないのでしょうか？花粉症の方はもちろんのこと、4月からの医療・介護保険ともに改正が入り、頭の痛い時期ですね。花粉症の私はこの時期体調を崩しやすく、気をひきしめていきたいと思っております。みなさんも体調管理に気をつけ、辛いこの時期を乗り越えましょう！（文責：豊嶋）

////////////////////////////////////

奥 付

編集；青森県理学療法士会

発行；PT 事務局・ときわ会病院リハビリテーション科内

〒 038-1216 南津軽郡藤崎町榊字亀田2-1

PHONE・FAX 0172-65-3698

E-mail ; ptaomori@m16.alpha-net.ne.jp

平成18年4月1日

施設長 殿

青森県理学療法士会
会長 伊藤 和夫
(公印省略)

青森県理学療法士会研修会参加のお願いについて

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より当士会運営ならびに本会会員の理学療法士に何かとご指導ご鞭撻を賜り深く感謝申し上げます。

さて、この度下記の要領にて青森県理学療法士会研修会を五戸町にて開催する運びとなりました。

つきましては、貴施設で本会会員理学療法士_____氏の研修会派遣につきまして格段のご配慮をいただきますよう、慎んでお願い申し上げます。

謹白

記

日 時:平成18年5月6日(土) 15:00～17:40
5月7日(日) 8:50～12:30

会 場:学校法人臨研学舎 東北メディカル学院 3階 大講義室

テーマ:「新入会員ガイダンス、組織と機構」 「臨床実習指導について」
「診療報酬・介護保険改正について」 「社会人・組織人として」

参加費:各テーマ500円

問い合わせ先

〒039-1522 三戸郡五戸町字苗代沢3番地638
学校法人 臨研学舎 東北メディカル学院
理学療法学科 専任教員 村上三四郎
電話 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034